



23期（昭和47年3月卒業）

■監督

渡辺 辰彦

（※監督に関しては、夏季岐阜県大会時を表記しております。）

■マネージャー

巽（北村）あさみ、谷田（棚橋）恭子

■選手数

氏名	出身中学
市川（松田）孝久	三輪
井上 仁司	美山北
近松 重将	三輪
中村 建次	島

氏名	出身中学
林 俊美	穂積
日比野 正春	境川
渡辺 訓男	三輪

■第23回 秋季岐阜県高等学校野球大会

1回戦						
2回戦	○	長良	6	—	0	土岐商
準々決勝	○	長良	9	—	2	関
決勝リーグ	○	長良	5	—	4	岐阜南
決勝リーグ	●	長良	0	—	10	岐阜工
決勝リーグ	●	長良	3	—	5	県岐商

■第18回 春季岐阜県高等学校野球大会

1回戦	○	長良	11	—	4	関
準々決勝	●	長良	1	—	2	大垣

■第53回 全国高等学校野球選手権岐阜大会

1回戦	○	長良	7	—	0	可児工
2回戦	○	長良	6	—	1	大垣工
準々決勝	○	長良	9	—	8	中津商
準決勝	○	長良	3	—	2	岐短大付

■第53回 全国高等学校野球選手権三岐大会

1回戦	○	長良	4	—	2	三重
決勝	●	長良	1	—	12	県岐商

■現役当時の様子や概況など

いよいよ岐阜県に「長良高校あり」と注目をされる年が来た。新人戦3位、選抜野球大会優勝、そして夏の大会は、三岐大会に出場し、優勝候補筆頭の三重高を敗り、決勝戦へと進出するのである。県営球場に入れない人達が球場外を埋めるというかつてない状況の中で、（観衆2万人—この記録はいまだに破られていない）行なわれた。結果は12—1という大差で県岐商に敗れるのである。

私は、この時誓った。「こんど、これに勝つと“甲子園”というゲームは絶対勝つのだ」と。

県岐商には勝てなかったけれど、5回を終わって7—0を逆転したゲーム、渡辺君が全国高野連から表彰された事、近松君が肋骨を折りながらゲームにでたこと、日比野君が…、枚挙に書き尽くせないほど、「思い出」のあるチームでした。

（平成2年「監督の思い出」より）